

今年度の日程は OWAF ホームページ <http://osaka-rousan.com/kyouikusoutai/schedule.html> にあります。9月-10月受付の講座の内容を次ページに案内します。たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

月	実施日	講座名	コース	講師	定員	申込み
9月	9/25 (火)	ハイキングレスキュー座学	入門編	日高博	20	受付中
	9/30 (日)	ハイキングレスキュー実技	入門編	日高博	20	
10月	10/10 (水)	パーティー論リーダー論座学	入門編	中川和道	35	受付中
	10/23 (火)	ハイキングレスキュー座学	リーダー認定	日高博	10	受付中
	10/28 (日)	ハイキングレスキュー実技	リーダー認定	日高博	10	
	10/30 (火)	登山と気象(冬山編)座学	入門編	山本賢治	35	受付中
11月	11/6 (火)	地形図の読み方座学	初級編	脇阪	16	10月より
	11/11 (日)	地形図の読み方実技	初級編	脇阪	16	
	11/13 (火)	遭難事例研究(積雪期)座学	入門編	中川和道	35	10月より
	11/27 (火)	登山と気象(冬山編)座学	リーダー認定	高田和孝	5	10月より
12月	12/5 (水)	遭難事例研究(積雪期)座学	リーダー認定	中川和道	5	11月より
	12/11 (火)	地形と乱流座学	専門講座	河野仁	35	11月より
1月	1/22 (火)	応急手当2座学	入門編	平井和雄	35	
		※それぞれ定員になり次第締め切ります。				
		※実技の締め切りは実施日の1週間前になります。				
		※申込みには労山会員番号が必要になります。				

9月-10月から受付の科目は以下のとおりです。多くの方々のご参加をお待ちしています。

パーティー論リーダー論 入門編 座学 中川和道 10/10 水

山に登るにはリーダーが必要です。カリスマリーダー、持ち回りリーダー、輪番リーダーという言葉聞いたことがありますか？コーチとリーダーはどう違うのでしょうか？パーティーのメンバーとリーダーの関係を、実践論、法律論などから考えていくための入門講義を行います。滅私奉公のリーダー論をやめて、輪番リーダーという新たなリーダーとメンバーを目指しましょう。今回の入門講義では、以下の文献をあらかじめ読んできていただくとより効率的だと思います。ご参加申込の方には座学用のテキストを事前にメール配信します。みなさま、ふるってご参加下さい。

文献1.「大阪労山ニュース」2016年10月号 中川和道「大阪府連における登山者養成：

ハイキングレスキュー

入門コース 日高博（座学 9/25/実技 9/30）

原則として実技と座学セットで受講ください。

ハイキングや縦走登山でも起こりうる事故や緊急事態に備えるための「お助け 4 点セット」について学びます。必要最小限のロープ結び（ムンターヒッチ、クローブヒッチ、8 の字結び、フリクションノット他）を実習して実技に備えます。

この技術はただレスキューのためだけでなく、沢や雪山などのバリエーションを歩くための技術にもつながります。是非習得して下さい。

実技では座学で学んだ知識を実際に使うやり方を学びます。入門コースではリーダーではなくメンバーとしての最低限の知識を学びます。支点工作やビレイ等はやりません。

リーダー認定コース（実技）日高博 座学 10/23 火 実技 10/28 日

原則として実技と座学セットで受講ください。

危険個所の通過時にリードで FIX ロープを張る。またそれをビレイする。メンバーに指導してそこを安全に通過させる等の一連をリーダー、サブリーダーとして確実にこなせるかを検定します。その他背負いや簡易担架、引きあげ等の技術の習得度を確認します。

※リーダー認定コースでは入門コースです。ロープワーク等の指導はしません。基本的な事はできるという方の検定コースです。また極力事前に入門コースを受講ください。危険個所の通過時にリードで FIX ロープを張る。またそれをビレイする。メンバーに指導してそこを安全に通過させる等の一連をリーダー、サブリーダーとして確実にこなせるかを検定します。その他背負いや簡易担架、引きあげ等の技術の習得度を確認します。

※リーダー認定コースでは入門コースです。ロープワーク等の指導はしません。基本的な事はできるという方の検定コースです。また極力事前に入門コースを受講ください。

登山と気象（冬山編）入門コース（座学） 山本賢治 10/30 火

冬山の気象に関する基礎的な事項を夏山の特徴をまじえながら解説をします。また、一般に入手できる地上天気図、高層天気図、天気予報などから山の天候をどう予想するかを解説します。

地形図の読み方 初級コース 座学/実技 脇阪 座学 11/6 実技 11/11

実技と座学セットで受講ください。座学のみ、実技のみの受講はできません。

入門コースを受講後、さらに読図のスキルアップを目指している方向けのコースです。道標が

無くても、踏み跡がうすくても、現在位置を把握しながら正確にルート維持できるようになることが目標です。今はGPSを利用してスマホでも登山中の現在位置が分かるようになっていますが、GPSに頼ってルート全体や周りの地形を確認せずに歩くのは安全登山とは言えません。この講座では、地形図とコンパスを使って、周りの状況も判断しながらルートを維持する力を磨きます。

座学は次のような内容を予定しています。

- ・地形図からルートのようにすを把握する。
- ・地形図上の現在地を判断するための方法を、いろいろなパターンの場合で考える。
- ・ルートを間違いやすい（道迷いしやすい）地点を読み取る。
- ・簡易ナビゲーション表を作成する。

◇準備物（座学当日ご用意ください）……入門コースと同じく、筆記具、ベースプレートコンパス（例、シルバコンパス No.3）、赤と青など2色の色鉛筆（または色ペン）

◇申し込みの一応の締め切り 10月21日（日）…下記の通り、座学の予習課題があるため。

*座学では、事前にいくつかの課題について予習をしていただきます。座学当日の学習がより深まるようにするためです。予習ですので分からないところがあってもそれは当然で、何も気にする必要はありません。課題はメール添付または郵便で送付します。

*この初級コースを受講できるのは、入門コース（2016,2017年のスタンプ講習会読図入門コースを含む）の座学・実技を受講された方、または、それと同レベルの読図力を持っている方です。

*入門コースを受講されていない方については、受講の判断は自己責任でお願いします。ただし、入門コースを受講された方を優先しますので、申し込んでいただいても仮受理となります。人数が定員を超える場合には、申し訳ありませんが受講できないことをご了解ください。

遭難事例研究（積雪期） 入門コース 座学 中川和道 11/13

積雪期における山岳遭難の分析法と教訓の抽出の例をいくつか紹介します。予習の文献をお送りしますので出来れば読んでおくと講座が聞きやすいです。当日はツリー分析という分析手法を紹介します。はじめての方はどんなものか、ぜひ見に来て下さい。このツリー分析を自分で使えるようになると、リーダー認定科目に進めます。

登山と気象（冬山編） リーダー認定コース 座学 高田和孝 11/27

過去の冬山気象遭難の事例を取り上げ、その経過を簡潔にまとめ、事故に至った分岐点（しばしば複数）を考察し、事故を防止する方策を自分で解析して事前にレポートを作成していただきます。当日はそれを互いに発表しあい討論を深めます。